

日本語教育能力検定試験  
キーワード

一問一答

2023 年度版



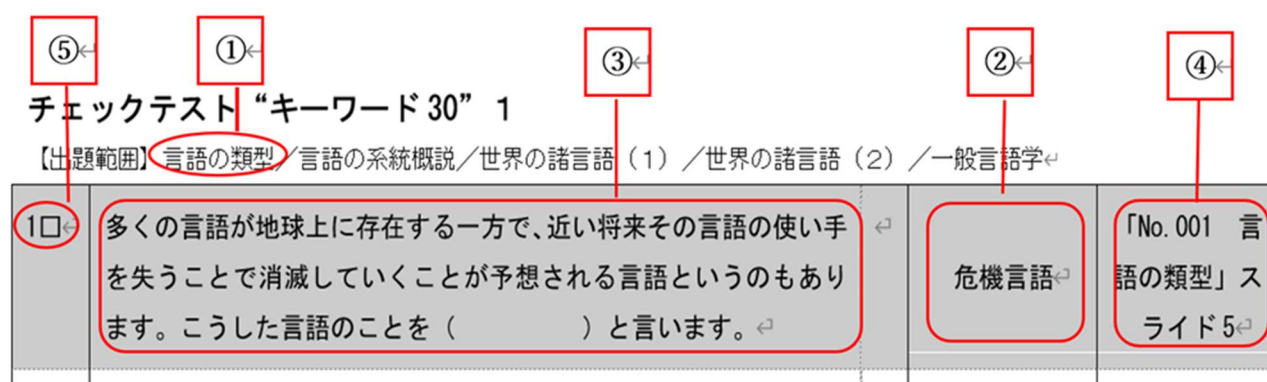
## はじめに

本書は、通信講座「篠研の日本語教育能力検定試験対策」の「チェックテスト“キーワード30”」に、若干の加筆修正を加えてまとめたもので、日本語教育能力検定試験（以下、検定試験。）全出題範囲の中から重要なキーワードを一問一答形式でまとめたものです。本書を繰り返し読み込んでいただくことによって、検定試験頻出キーワードをマスターすることができます。

なお、重要キーワードにつきましては問題が重複しているものもございます。予めご了承ください。

ぜひ、本書を最大限活用し、検定試験の合格切符を手になさってください！！

## 本書の使い方



- ①出題範囲を確認します。
- ②問題を解く前に、答えの部分を隠します。
- ③（ ）の中に入るキーワードを考えます。
- ④わからない場合は講義資料を確認します。（通信講座会員）
- ⑤覚えたら口にチェックを入れます。

## 著作権について

本書は著作権法で保護されている著作物であり、著作権は篠崎大司に属します。

著作権者の許可なく、本書の全部又は一部を紙媒体をはじめ電子媒体（インターネット）などいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った場合やその他不正行為に該当する行為を行った場合は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

### ④のスライドページについて

④のスライドページは2023年7月20日現在のものです。講義資料の改訂作業によりページ番号が変わることがあります。

## 目次

|                      | 出題範囲                                                                        | P     |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------|
| チェックテスト“キーワード 30” 1  | 言語の類型／言語の系統概説／世界の諸言語（１）／世界の諸言語（２）／一般言語学                                     | 4～7   |
| チェックテスト“キーワード 30” 2  | 日英対照言語学／日中・日韓対照言語学／理論言語学・応用言語学／日本語の構造／品詞概論                                  | 8～11  |
| チェックテスト“キーワード 30” 3  | 日本語の音声／日本語の子音とその周辺／日本語のプロソディ／日本語の音声の諸現象／形態論概説                               | 12～15 |
| チェックテスト“キーワード 30” 4  | 語彙論概説／助詞各論／動詞・形容詞各論／テンス／アスペクト                                               | 16～19 |
| チェックテスト“キーワード 30” 5  | ヴォイス／モダリティ表現の諸問題（１）／モダリティ表現の諸問題（２）／モダリティ表現の諸問題（３）／その他の重要構文                  | 20～23 |
| チェックテスト“キーワード 30” 6  | 複文の諸問題（１）／複文の諸問題（２）／談話文法の諸問題（１）／談話文法の諸問題（２）／文字・表記の諸問題（１）                    | 24～27 |
| チェックテスト“キーワード 30” 7  | 文字・表記の諸問題（２）／文字・表記の諸問題（３）／意味体系／語用論的規範／日本語史                                  | 28～31 |
| チェックテスト“キーワード 30” 8  | コミュニケーション能力／初級の指導法／初中級の指導法／中上級の指導法／レベル別読解指導法                                | 32～35 |
| チェックテスト“キーワード 30” 9  | レベル別聴解指導法／レベル別会話指導法／レベル別作文指導法／レベル別文型指導法／レベル別語彙指導法                           | 36～39 |
| チェックテスト“キーワード 30” 10 | レベル別文字・表記指導法／コースデザイン（教育課程編成）、カリキュラム編成／語学教授法の変遷／さまざまな教授法（１）／さまざまな教授法（２）      | 40～44 |
| チェックテスト“キーワード 30” 11 | さまざまな教授法（３）／教材分析・開発／教室・言語環境の設定／評価法概論／評価の実際                                  | 44～47 |
| チェックテスト“キーワード 30” 12 | 自己点検・授業分析能力／誤用分析概論／表記・音声・語彙の誤用分析／文法の誤用分析（１）／文法の誤用分析（２）                      | 48～51 |
| チェックテスト“キーワード 30” 13 | 生活者としての外国人に対する指導法／留学生に対する指導法／外国人ビジネスパーソンに対する指導法／外国人児童生徒に対する指導法／技能実習生に対する指導法 | 52～56 |
| チェックテスト“キーワード 30” 14 | 看護師・介護福祉士に対する指導法／異文化間教育・多文化教育／異文化受容訓練／学習者の権利／データ処理                          | 57～60 |

|                      |                                                                     |        |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------|--------|
| チェックテスト“キーワード 30” 15 | メディア／情報技術活用能力（リテラシー）／学習支援・促進者（ファシリテータ）の養成／教材開発・選択／知的所有権問題／教育工学      | 61～65  |
| チェックテスト“キーワード 30” 16 | 予測・推測能力／談話理解／記憶・視点／心理言語学・認知言語学／習得過程（第一言語・第二言語）                      | 67～70  |
| チェックテスト“キーワード 30” 17 | 中間言語／二言語併用主義（バイリンガリズム）／ストラテジー（学習方略）／学習者タイプ／社会的技能・技術（スキル）            | 71～74  |
| チェックテスト“キーワード 30” 18 | 異文化受容・適応／日本語教育・学習の情意的側面／日本語教育と障害者教育／社会文化能力／言語接触・言語管理                | 74～77  |
| チェックテスト“キーワード 30” 19 | 言語政策／社会言語学・言語社会学／言語変種／敬意表現／待遇表現                                     | 79～82  |
| チェックテスト“キーワード 30” 20 | 言語・非言語行動／コミュニケーション学／言語・文化相対主義／二言語併用主義（バイリンガリズム（政策））／多文化・多言語主義       | 83～87  |
| チェックテスト“キーワード 30” 21 | アイデンティ（自己確認・帰属意識）／日本社会の外国人／日本語教育機関／日本の識字教育／日本人論                     | 88～92  |
| チェックテスト“キーワード 30” 22 | 異文化適応・調整／人口の移動／児童生徒の文化間移動／戦前の日本語教育（19 世紀以前）／戦中の日本語教育（19 世紀～1945 年）  | 93～97  |
| チェックテスト“キーワード 30” 23 | 戦後の日本語教育（1945 年～現在）／日本語教育と国語教育／日本語及び日本語教育に関する試験／日本語教育事情／日本語教員の資質・能力 | 98～102 |

## チェックテスト “キーワード 30” 1

【出題範囲】 言語の種類／言語の系統概説／世界の諸言語（１）／世界の諸言語（２）／一般言語学

|    |                                                                                                    |       |                                   |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------|
| 1□ | 多くの言語が地球上に存在する一方で、近い将来その言語の使い手を失うことで消滅していくことが予想される言語というのもあります。こうした言語のことを（ ）と言います。                  | 危機言語  | 「No. 001 言語の種類」スライド 6             |
| 2□ | スペイン語の語順は、（ ）です。                                                                                   | SV0   | 「No. 004 世界の諸言語ー世界の諸言語（２）」スライド 16 |
| 3□ | 言語は伝えたい情報を一度に相手に送ることはできず、文という一本の線の上に一定のルール（すなわち文法）にしたがって乗った情報列によって芋づる式に相手に情報を伝達します。これを言語の（ ）と言います。 | 線条性   | 「No. 005 一般言語学」スライド 5             |
| 4□ | 中国大陸では 1956 年に画数が少ない字体である（ ）を導入しました。                                                               | 簡体字   | 「No. 003 世界の諸言語（１）」スライド 7         |
| 5□ | ある複数の言語が、同じ祖先をもつ場合、それらの言語を同系であるといい、同系である言語の集団を（ ）と言います。                                            | 語族    | 「No. 002 言語の系統概説」スライド 6           |
| 6□ | タイ語の正書法は、（ ）と呼ばれる独特な文字を採用しています。                                                                    | タイ文字  | 「No. 003 世界の諸言語（１）」スライド 17        |
| 7□ | （ ）とは、語彙が文中で変形することなく、それぞれが独立して並ぶことによって文を形成する言語のことを言います。                                            | 孤立語   | 「No. 001 言語の種類」スライド 10            |
| 8□ | （ ）は、フィリピンで話されている言語です。                                                                             | タガログ語 | 「No. 004 世界の諸言語ー世界の諸言語（２）」スライド 7  |

|     |                                                                |       |                                   |
|-----|----------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------|
| 9□  | 言語には、一文中的語と語との文法的関係（＝統語的關係）と、文中のある特定の語と同要素を持つ語との関係（＝（ ））があります。 | 範列的關係 | 「No. 005 一般言語学」スライド 8             |
| 10□ | ドイツ語や英語は、（ ）語派に属しています。                                         | ゲルマン  | 「No. 002 言語の系統概説」スライド 8           |
| 11□ | 英語は音節の末尾を母音で終わらない（ ）が多いことも特徴の一つです。                             | 閉音節   | 「No. 003 世界の諸言語（1）」スライド 12        |
| 12□ | ポルトガル語は、主にポルトガルと（ ）およびアフリカの旧ポルトガル植民地諸国で話されている言語です。             | ブラジル  | 「No. 004 世界の諸言語ー世界の諸言語（2）」スライド 18 |
| 13□ | （ ）とは、自立語の語幹に接辞がついたり、自立語同士を付属語（＝機能語）がつなげることで文を構成する言語のことをいいます。  | 膠着語   | 「No. 001 言語の類型」スライド 11            |
| 14□ | 言語における成員全員に共通する一般規則としての普遍的側面を（ ）といいます。                         | ラング   | 「No. 005 一般言語学」スライド 9 10          |
| 15□ | 中国語は、1 音節内での音の高低によって語の意味を弁別する（ ）があります。                         | 声調    | 「No. 003 世界の諸言語（1）」スライド 8         |
| 16□ | （ ）とは、追加的な形式的標示（形態素、単語、イントネーションなどの追加）があるものを言います。               | 有標    | 「No. 001 言語の類型」スライド 17            |
| 17□ | インドネシア語は、インドネシア共和国で使われている言語で、言語類型は（ ）に属しています。                  | 膠着語   | 「No. 003 世界の諸言語（1）」スライド 14        |